

特別支援学級（知的） 道徳学習指導案

日 時 令和3年11月5日（金）

場 所 特別支援2年教室

授業者

- 1 主題名 働く人の思い
- 2 資料名 世界がおどろく七分間清掃
- 3 主題構成表

■内容項目

C-（13）勤労

勤労の尊さや意義を理解し、将来の生き方について考えを深め、勤労を通じて社会に貢献すること。

■価値の分析

- ・自分の得意なことや個性を生かした仕事に就き、勤勉に働いて社会に貢献することで充実した生き方を追求し実現する。
- ・生徒は、学校での係や委員会、掃除などを「一日の流れ」や「決まりだから」となんとなく行っており、その働く意義について深く考えることはなく、将来働くことについても具体的にイメージできない。
- ・中学校の学習や活動が、将来の仕事に何らかの形で力となることに気付かせたい。また、ただ決められたことを行うだけでなく、目的を理解したり、願いをもったりして、仲間や学校のため、公共のために働くことの意義について考える気持ちを高めたい。

■内容項目から見た生徒の実態

- ・自分が夢中になれることや得意なことがある生徒もいるが、自信を持たずに「できない」「分らない」と思い込んでしまうことが多い。
 - ・学級のために役に立ちたい、最後までやり切りたいなどの思いがある生徒もいるが、自分の考えや願いをもつことが難しい生徒のほうが多い。
 - ・生活単元学習での活動など、働くことと結び付けて考えることができる場合もあるが、目標を定めたり、気持ちを高めたりしようとする意欲は低い。
- ## ■要因
- ・委員会や係活動を単なる日課として行っており、働いて得られる力や働くことの意味はあまり考えていない。
 - ・職業に関する知識が少なく、日常生活に、様々な働く人が関わっていることに気付くことが難しい。

■資料の分析

- ・新幹線の清掃員は、新幹線を利用する人たちが、きれいな座席を利用できるように、また、発車時刻に必ず間に合うようにやることを秒単位で決め清掃を行っている。「世界がおどろく7分間清掃」である。
- ・新幹線の清掃員が、清掃後利用客に向かっておじぎをする姿から、ただ車内をきれいにするだけでなく、どのような思いで仕事をしているかを考え、働くことの意義に気付かせたい。
- ・毎日の掃除をこれまで以上に丁寧に行うことや、「ロッカーを常に整えたい」「衛生面に注意して安全な給食の時間にしたい」「ハンカチの忘れ物をなくして全員の健康を守りたい」などの思いをもつことを意識して、委員会の仕事に取り組む意欲を高めたい。

■ねらい

働くことが人の役に立つ喜びややりがいにつながることに気づき、将来の仕事や働く意義について考えを深め、働くことで社会に貢献しようとする態度を育てる。

■展開の構想

- ・自分たちの周りには、どのような仕事をしている人たちがいて、それぞれがどのような思いで働いているかを考える。
- ・世界から高く評価されているのはなぜかを考え、行動にある理由や意味に気付く。
- ・新幹線の清掃員の方は、ただ車両を掃除しているだけでなく、新幹線を利用する人のことを思い、仕事を行っているということを知り、働くことの意義について考える。
- ・働くことは、自分の生活のためだけでなく、他者や社会のために役立とうとする気持ちをもつことが大切であるということを理解させる。また、働く人たちに対して、自分たちには何ができるのかを考え、実践していく気持ちを高める。

■基本発問（◎中心発問）

- 私たちの周りで働いている人は、どんな思いで働いているのだろうか。
- 新幹線清掃の「世界にじまん」できるところはどんなところだろうか。
- ◎新幹線の清掃員さんたちはどんな気持ちでおじぎをしているのだろうか。
- 自分はどのようなことを大切にして働きたいか、また、自分たちにできることは何だろうか。

4 道徳の時間(本時)と他の教育活動との関連

＜場の内容・ねらい＞

■学校行事
「若狭研修」

- ・交流学級の仲間と協力し、自分の役割を最後までやり切って活動に参加する。
- ・体験活動や漁師との語らいで、漁師や民宿の仕事について学ぶ。

■総合的な学習の時間
「職場体験」

- ・どのような仕事を行っているのか実際の体験を通して知り、一生懸命取り組む中で、難しいことや、上手くできてうれしいことを感じながら経験する。

■道徳の時間
「世界がおどろく七分間清掃」
内容項目C- (13)

- ・働くことが人の役に立つ喜びややりがいにつながることに気づき、将来の仕事や働く意義について考えを深め、働くことで社会に貢献しようとする態度を育てる。

■生活単元学習
「きらめき職場見学」

- ・校外学習で職場を見学し、働く人の話を聴くことで、働くことの苦勞ややりがい、喜びを知り、自分の将来に見通しをもつ。

■日常生活
<学習>

- ・様々な教科の学習を通して、得意なことや興味のあること、苦手なことを知る。

<部活動>

- ・自分の好きなことや得意なことを見つけ、伸ばすことができる。
- ・ひとつのことを継続できる力を身に付ける。

<委員会・係活動>

- ・与えられた仕事内容の意義を理解し、役割を最後まで責任をもって行うことができる。
- ・それぞれの活動を通して仲間と関わり、充実した活動を行えるようにする。

■教科
<生活単元学習>

- ・野菜作りを通して、作物を育てたり、収穫したりする喜びを体験する。
- ・丁寧に作業を行った後、自分の役割を最後まで責任をもって行ったりする。

＜生徒の意識＞

- ・仕事を最後まで責任をもって行い、周りの仲間に認めてもらいたい。
- ・仕事をやりたい気持ちはあるが、どうしてよいか分からずにいることがある。

- ・何をやる職業か、働くために何が必要か、などを知りたい。
- ・自分も将来仕事をやるが、今の中学生の自分には想像ができて、他人事としか捉えられない。

- ・自分の役割に責任をもち、学級のために呼び掛けをする。また、進学や就職に向けて力をつけたい。
- ・面倒だ、忘れても誰かがやってくれるなどと甘えてしまうことがあったが、自分の役割は必ず自分で最後までやろう。

- ・将来自分にもできそうなことや、付けるべき力を知ってこれからの生かしたい。
- ・今までは親に頼ることが当たり前だったが、自分の力でできることを自分でできるようにしよう。

＜指導・援助＞

- ・分からないことは自分から訊き、あいさつやお礼などの礼儀を大切にしよう指導する。
- ・事前に仕事内容の確認を行い、自信をもって活動できるよう手助けする。

- ・仕事を体験したり、仕事で実際に使用する道具や商品を手にしたりして、社会に役立つことにつながり、また自分自身も将来働く人の一員となることを実感させる。

- ・毎日、仕事を行う場面を作り、それぞれの役割を継続して果たしていることを実感させ、価値付ける。
- ・それぞれの役割に責任をもとうとする意識を高める。

- ・自分の将来の生活や仕事について考えるうえで、学校で身につけた知識や技能が役立つ場面があることを想像できるような言葉掛けや手助けを行う。

5 本時の展開

	基本発問と予想される生徒の反応	指導・援助
導入	<p>1. 価値の方向付けをする。</p> <p>○私たちの周りで働いている人は、どんな思いで働いているのだろうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生活するためのお金がほしい。 ・病気やケガをした人を元気にしたい。 ・利用する人みんなが楽しめる物を作りたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・場面の例を挙げたり、物を提示したりして、イメージしやすいよう手助けする。(飲食店の店員、テーマパークの従業員、教科書を作る人、ゲームを作る人、野菜を作る人など) ・自分たちの周りにはどのような仕事をしている人たちがいるか、日常生活と関連付けて気付かせる。
展開前段	<p>2. 資料「世界がおどろく七分間清掃」を読み、話し合う。</p> <p>○新幹線清掃の「世界にじまん」できる場所はどんなところだろうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・たった7分間で清掃を行うところ。 ・お客さんへの声掛けも行うところ。 ・車内清掃だけでなく、お客さんのゴミを受け取る気配りがあるところ。 ・整列しておじぎをしながら新幹線を迎えるところ。 ・清掃員の声掛けにより、お客さんが嬉しい気持ちになる。 ・自分だけでなく、お客さんのために工夫をしている。 <p>◎新幹線の清掃員さんたちはどんな気持ちでおじぎをしているのだろうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「いってらっしゃい」という気持ち。 ・自分たちできれいにした車内でゆっくり過ごしてほしい。 ・お客さんに喜んでほしい。 ・気持ちを込めて掃除している。 ・お客さんのために頑張ろう。 	<ul style="list-style-type: none"> ・資料を読む前に「新幹線の7分間清掃」の動画を視聴し、新幹線清掃のイメージをもつ。 ・どのような工夫をしながら清掃を行っているのか、自分たちの掃除とどう違うのか、どういったところが世界から驚かされているのかなどに、注目して見るように声掛けを行う。 ・「ぼく」が「世界にじまん」できると思ったところに注目して聞くように促す。 ・清掃をしている場面や、お客様の対応をしている場面の画像に、チェックや自分の考えを書き込ませる。(タブレット使用) ・すごいと思った技術や、感動した言葉など、それぞれの思ったことをたくさん挙げさせる。 ・意見が出にくい場合は、清掃員の言動によって、どのようなよいことがあるかを考えるよう促す。 ・自分たちの掃除との違いを考えさせる。 ・決まりごととしておじぎをしているだけでなく、どのような気持ちを込めたおじぎなのか、実際におじぎの動作を行いながら、自分の考えやせりふを発表させる。
展開後段	<p>3. 本時の学習を振り返る。</p> <p>○自分はどのようなことを大切にしたいか、また、今から自分たちにできることは何だろうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・お客さんや、利用する人の気持ちを考える。 ・みんなが気持ちよく過ごせるように、普段の掃除をもっと丁寧に隅々までやろう。 ・黒板消しの仕事を、ただ黒板を消すだけでなくきれいになるまで丁寧にやろう。 	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>【評価の視点】</p> <p>働くことの意義や喜びについて理解しようとしている。また、自分にできることを考え、これからの生活の中で実践していこうとしている。</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・日常生活の中の場면을例に挙げて、イメージしやすいようにする。(掃除、給食当番など) ・今までの自分の姿で、続けていきたいことや、伸ばしていきたいことは何かを考えるようにする。
終末	<p>4. 教師の説話を聞く。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・アルバイトでの体験談を話し、職場見学で働くことについてより深く考えることができるようにする。